

立候補表明書簡

## 目 次

### 立候補表明書簡

- I. 立候補の動機
- II. 私たちの郷土
- III. 私たちの提案
- IV. 組織と準備
- V. 財政計画
- VI. 放送と活字メディア
- VII. 終りに

平成8年3月5日

アメリカ合衆国アラバマ州  
バーミンハム市私書箱531208  
世界ワールド・ゲームズ協会 御中

拝啓

秋田県民および市町村を代表し、ここに2001年ワールド・ゲームズ大会の開催地として立候補の意志を表明し、御協会に宣言することは大いなる喜びと誇りをもつものであります。

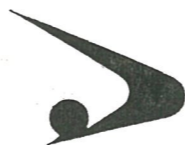
本提案書に記されているように、わか秋田は素晴らしい自然に恵まれ、社会基盤の整備も行き届き、あたたかな県民性、さらに豊かな伝統・文化をもつところ。そのようなわか郷土を御協会の皆様が、21世紀初のワールド・ゲームズ大会を開催するに最もふさわしい地と、ご判断いただけるとの確信をもっております。

私ども県民は大会を成功させるための一切の努力を惜しむものではありません。

御職、御協会関係者との関係を発展させることにより、ワールド・ゲームズ史上最高の大会が生まれることを期待しています。1997年のラハティ大会のご成功を祈念し、ここに立候補宣言を慎んで提出する次第であります。 敬具

ロン・フローリッチ会長 殿

秋田県知事  
佐々木 喜久治



4-1-1, SANNO  
010 AKITA, JAPAN  
T E L : 0188-60-1219  
F A X : 0188-60-3873  
TELEX : J36392 AKITAKEN

## AKITA PREFECTURE

March 8, 1996

Mr. Ron Froehlich, President  
International World Games Association  
P.O.Box 531208  
Birmingham, Alabama 35253  
U.S.A.

Dear President Froehlich,

It is with great pleasure and pride that, on behalf of the citizens and municipalities of Akita Prefecture, I hereby submit to your organization this official declaration of our candidacy to host the World Games in the year 2001.

As described in the attached proposal, Akita is blessed with great natural beauty, equipped with a modern infrastructure, and endowed with warm, welcoming people and rich traditions and culture. I am confident that you and your colleagues will find Akita to be the most appropriate host for the first World Games of the 21st century.

We recognize the enormous effort required to stage a successful World Games. However, we look forward to the challenge of making the World Games 2001 Akita the very best ever.

Wishing you success with the Lahti Games in 1997, I remain

Sincerely yours,

*Kikuji Sasaki*  
Kikuji SAKI  
Governor of Akita Prefecture

I. 立候補の動機

II. 私たちの郷土

## I. 立候補の動機

21世紀が目前にせまり、通信、運輸、テクノロジーの発達により世界空間は日々縮小していく感があります。とはいえまだ国家間、地域間の誤解や紛争が絶えず、それによって生みだされる悲劇が繰り返されています。私ども秋田県民は、地球市民の一員として、世界の人々が平和に生活できる環境づくりという責務を遂行していかなければなりません。

私どもは、郷土での栄光に満ちたスポーツの長い歴史に大きな誇りをもち、先人の偉業につねに敬意をはらっております。彼らの多くは国内選手権、世界選手権の場で活躍しただけでなく、オリンピック・チャンピオンという栄誉にも輝きました。豊かなスポーツ環境のなか、私どもはスポーツが世界の平和に大いに貢献することを経験的に学びました。世界の国民が一堂に会し、喜びを分かち合うスポーツの祭典、ワールド・ゲームズの理念を私どもは深く理解し、開催地として立候補するものです。

太平洋岸の地域と比べ日本海に面した秋田は、エネルギーと活力が表からは見えにくく、地味な存在としてうけとめられてきました。その中で確かな価値観と、先人の残した文化遺産を礎に、私どもは地域づくりに取り組んできました。さらに国際的な場での活動の必要性も、実感するようになりました。おもに国内や地域に目が向いていたこと、また秋田のおかれている地理状況から国際的な場から遠ざかってしまったのでしょう。

新しい時代の幕は切って落とされました。ジェット時代の到来により、秋田と首都東京は空路1時間以内で、1997年には我が国が世界に誇る新幹線で4時間あまりで結ば

れることになりました。高速道路網の整備も進んでおり、1997年には秋田道が東北自動車道と接続し、自動車による東京秋田間の所要時間は7時間あまりとなります。首都や他の大都市との距離は、航空輸送、鉄道、そして道路だけによって短縮されているわけではありません。通信衛星や光ファイバーを使った通信網が、全国津々浦々に張りめぐらされています。交通や通信手段の発達により、秋田と首都圏をはじめとする他の大都市との距離が短縮されました。その結果、遠隔地と意識していた我が郷土に、国内外の舞台で活躍する機会が生まれるようになったのです。

私どもは、世界中に秋田の姿を披露する時が来た実感しています。同時に世界を秋田に迎える用意ができたことを確信しています。数千、数万の県民が2001年ワールド・ゲームズ秋田大会の開催に、さまざまなかたちで参加したいと熱望しています。秋田を世界の共同体の仲間の一員として世界地図に載せることが、私どもの本大会開催立候補の大きな目的なのです。

今日のスポーツは、過度の競争、商業主義そしてプロ化という現象に満ちています。スポーツは一般市民の生活から離れてしまい、多くの人々は単なるオブザーバーとしてスポーツを観る側にまわってしまいました。私どもはスポーツを実感する喜びを秋田県民に味わってもらいたいのです。ワールド・ゲームズに含まれているスポーツは、ほとんどが市民参加型のスポーツです。スポーツは生涯続けられるべきものであると、私どもは考えています。その意味においても、多くの秋田県民にワールド・ゲームズを体験してほしいと願っています。



## II. 私たちの郷土

秋田県は北日本地方に位置する地方行政区であり、面積1万1千692平方キロメートル、人口は約120万人、9市、50町、10村、合計69の市町村から成り立っています。県庁所在地である秋田市は、古くからこの地域の経済と産業の中心でした。すでに6世紀には集落が存在していたことがわかっていますが、秋田市の歴史は、1602年佐竹氏がこの地に藩都を定めたことに始まるといわれています。秋田市はその後拡大を続け、現在は人口30万人の地域最大の都市となっています。市とそれを取り巻く地域の自然は、他に類を見ないほど美しいものです。西側はみごとな海岸線に縁どられた日本海に面し、その他の三方は山々に囲まれ、山間には数多くの温泉や湖沼があります。日本最深の湖、田沢湖も秋田県にあり、県の東北部に位置する白神山地は、国連から世界遺産の認定を受けた自然の宝庫です。

秋田は北緯40度に位置し、それぞれ特徴ある4つの季節がめぐってきます。冬の秋田は雪も多く、まさにワンダー・ランドといっても言い過ぎではありません。スキー、スケート、ワカサギ釣りなどの冬のスポーツが、広く県民に親しまれています。春になれば秋田は、白い世界から山々の濃淡も鮮やかな緑の世界へと変わっていきます。

春は世界的に有名な秋田杉の森が広がりを見せ、あらゆる草花が色を添える彩かな季節です。角館町の桜並木は、日本で最も有名な桜並木のひとつに数えられています。そして夏の秋田はお祭りの季節です。竿灯祭は日本でもっとも壮大で華麗な夜祭りとして、4日の期間中に全国から数十万もの観光客を集めます。夏の秋田は晴天日が多く、温暖な日が続きます。8月の晴天日の平均は25日で、この季節日本の中でもっ

とも天候に恵まれた地域とされています。さらに山々の色が緑から赤に変わる秋は、日本で最高に美しい場所とされています。紅葉と温泉を楽しむために全国各地から観光客が秋田を訪れ、北日本のトップをいく観光名所として秋田は君臨します。観光産業は秋田の顔としてめだつた産業ですが、農業とハイテク産業においても他県にひけをとっていません。農業に従事する人口は比較的高く、今日でも日本を代表する米の産地です。またハイテク機器の設計製造においても、秋田は世界のハイテク産業から注目されています。大小さまざまな工場が製造するICやLSCを初めとする電子機器の部品の多くは、世界に向けて輸出されており、秋田は世界のハイテク産業の中心地のひとつに加えられています。

さらにこの地は商業も大変盛んで、総預金額一兆円をこえる銀行のほか、多くの地元金融機関が秋田の発展のために貢献しています。

秋田は教育の面においても、大いに誇りをもっています。県内には合計65の高等学校、141の中等学校そして336の小学校があります。さらに国立大学1校、私立大学1校、短期大学6校、米国州立大学分校1校を擁しています。また職業訓練専門校も多数あり、県内の教育はたいへん充実しているといっても言い過ぎではありません。

また医療面にふれれば、地域、時間に格差のない高度医療体制を施しています。病院数86、医院数739、医者総数は約1,800名を数えます。秋田大学医学部付属病院、県立脳血管研究センター、秋田市民病院などは、県民に高度な先端医療を提供している例です。

スポーツやレクリエーション施設も県内には数多く、その中で最も大きな施設は、秋田市の南に隣接し、秋田空港から5分という至近距離の雄和町にあり、総面積584ヘクタールの規模を誇る県立中央公園です。公園内の施設は以下の通りです。サッカー/ラグビー場2面、野球場2面、テニスコート24面、200ヘクタールをこえる緑地、23.4ヘクタールの敷地に140のチェック・ポイントがあるフィールド・アスレチックのコース、ジョギングやサイクリングも可能な遊歩道10キロ、3万2千人収容のスタンドを有する陸上競技場、サッカー/ラグビー場2面とソフトボール場4面がはいる多目的運動場、バスケットボールコート4面とトレーニング施設のある体育館、そしてドーム球場では雪深い冬にもボール・ゲームを楽しむことができます。さらに公園内には200人収容の宿泊施設も完備されています。その他の各市町村にもスポーツ、レクリエーション施設が完備されており、秋田市を例にとれば中心部にサッカー場、ラグビー場、野球場、テニスコート、そして体育館を備えた総合運動公園があります。これらのスポーツ施設はワールド・ゲームズを開催するにあたり、格好の競技場となると確信しています。

さらに秋田にはこれらスポーツ施設のみならず、文化施設も充実したものが多く、コンサート・ホール、図書館、美術館や博物館、文化や歴史をテーマとした公園、動物園、植物園などあらゆる文化施設が、県民の文化活動の拠点となっています。

### Ⅲ. 私たちの提案

### Ⅲ. 私たちの提案

#### A. 期間

私どもはワールド・ゲームズ2001秋田を、2001年8月中旬の10日間に開催することを提案いたします。具体的にいえば、8月16日（木曜日）夕方を開会式とし、10日間の競技の後、26日（日曜日）の閉会式で大会の幕を閉じることが現段階での計画案です。しかし実際の開催日程はIWGAの役員のかたがたとのご相談のうえ、決めていきたいと考えます。さらに多くの選手、役員が参加できるように、全期間の中間日にパーティーを開きます。これ以外にも、全期間を通して参加者のかたがたにより日本そして秋田への理解を深めていただくため、各所で文化イベントが開催されることと思います。

#### B. 競技種目

ワールド・ゲームズ2001秋田では、1997年ラハティ大会で行われる競技種目よりも数多くの競技を招待したいと考えています。私どもは、IWGA参加の各スポーツ団体の選手が、等しく本大会に参加し、秋田を楽しんでくれることを望みます。日本にはまだあまり馴染みのない競技もありますが、ワールド・ゲームズ開催を機に、そのようなスポーツが日本での市民権を得ることを私どもは願っています。その意味からも私どもは、大会運営や施設の面において、可能な限りのスポーツ団体を、公開競技参加も含めて招待したいと考えています。正式競技種目、公開競技種目に関しては、あくまでもIWGAの役員のかたがたと話し合いながら、最終決定していきたいと考えています。大会規模における決定は、IWGAが掲げる“管理が可能なプログラム”という基準により、IWGAの指導のもとにあるものと私どもは理解しています。

#### C. 大会会場

前章にあるように、秋田には大会会場としてふさわしいスポーツやレクリエーション施設がそなえられています。それらの中から数か所の会場候補を選び出し、IWGA役員が来秋される時にご案内したいと考えています。最高の競技場での競技をめざし、私どもは各スポーツ団体やIWGA役員のかたがたと協議のうえ、会場の選定をしております。会場決定後も、競技場のベストコンディションを確保するため、各競技団体と連絡を密に取りあい、競技場の管理をしていきたいと考えています。





## D. 警備

定評ある日本の治安の良さをもってすれば、世界的スポーツ・イベントを開催するにあたって、警備上の問題は大きなものではありません。しかしながら、秋田県警および警備専門家による警備委員を、組織委員会を構成するにあたって委員会におくものとしています。

## E. 宿泊施設

観光産業が盛んな秋田には、高級ホテルから民宿まで、さまざまな宿泊施設が数多くあり、秋田市及び周辺市町村を合わせ、約1万人の宿泊が可能となっています。この中から選手、役員、スタッフの宿泊施設として、競技場との距離や居住性に配慮したうえでホテルまたはスポーツ・ロッジをあてることを計画しています。組織委員会負担コストは、各選手及び役員、スタッフの競技参加日数プラス3日を限度とする宿泊費、食費を全額と考えています。さらに競技終了後も秋田に滞在を希望する選手、役員には、秋田の文化や人々の温かさを肌で感じられるホームステイのプログラムを用意したいと考えています。ホームステイは世界の人々が秋田を肌で感じるばかりでなく、秋田の人々が世界中のお客様に接することができる大きな機会であり、これこそがワールド・ゲームズ招致の私どもの大きな目的でもあるわけです。

## F. 交通機関

ワールド・ゲームズに参加するため世界中から到着する選手や役員が、秋田に向かう国内便にスムーズに乗りかえられるよう、主要国際空港に案内デスクを設けます。さらにもし要望があり、可能であると判断された場合には、東京新国際空港（成田）と秋田間に選手、役員、メディア関係者のための定期シャトルバスを無料で運行することも考えられます。秋田の玄関口である秋田駅や秋田空港にも案内デスクを設け、大会関係者が目的地に迅速かつ安全に到着するよう、交通機関の手配及び案内を行います。秋田の地域内では、バス、ミニバン、乗用車などによるシャトル運行によって、選手、役員、メディア、その他の大会関係者が宿舎、競技場の往復のみならず、その他の大会会場などへの自由で安全な無料交通機関を確保されます。IWGA理事のかたがたやVIPには、高級乗用車を交通機関として提供いたします。

## G. ボランティア

ワールド・ゲームズ2001秋田は県民に、新鮮で日常にはない魅力的な分野、部署で働くことが経験できる、素晴らしい機会を提供します。語学ボランティアをはじめとして、会場整理や交通機関のドライバーなどの仕事、さらに組織委員会の一員としてボランティアで大会に貢献してくれる人々も考えられます。ボランティアの手によってなされる仕事は多岐にわたりますが、秋田の歴史始まって以来の国際的なイベントに参加できることを、県民の多くが期待しているにちがいないと思います。



IV. 組織と準備

V. 財政計画

## IV. 組織と準備

### A. 組織委員会

2001年大会の開催地決定をうけ、私どもは、政界、官界（県、市町村）、市民団体、財界、スポーツ団体などの各分野からのマンパワーを含む援助により、組織委員会を結成します。効果的なマーケティングを目的とし、PRエージェントにも委員会への参加を求めます。さらに国内に協会を持つスポーツ

種目から、その協会役員を技術連絡会議（TLC—テクニカル・リエゾン・コミティー）への派遣参加を計画しています。立候補条件書に基づき、組織委員会はIWGAの協力のもとに、コーディネーション委員会を組織し協力体制を構築します。

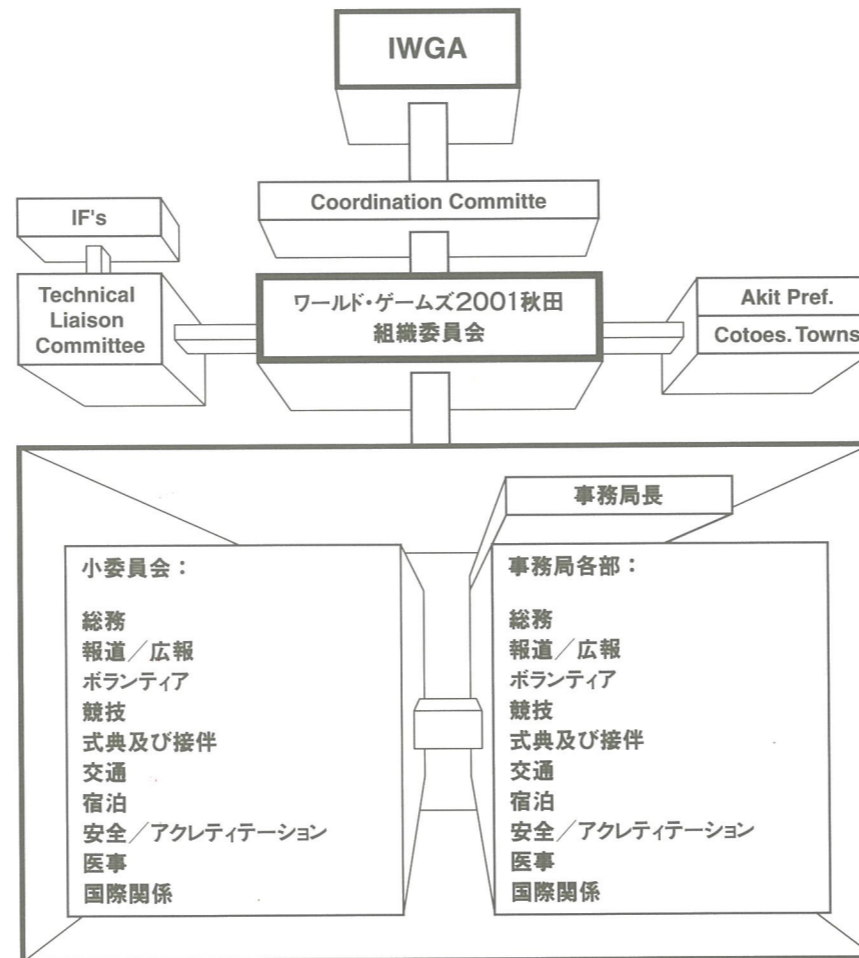
### B. 事務局

ワールド・ゲームズ2001秋田実施に向けて、事務局が設立されます。組織委員会の監督を受ける専任の事務局長の指揮下に、当初は少数の常勤及び非常勤のスタッフによる事務局を発足させます。実施基盤策定の進捗状況に平行して、各関係機関から各部署に職員が派遣され、また分野別にそれぞれの専門家が雇用されることとなります。図が示すように、事務局にはそれぞれの部が設けられ、各部署がそれぞれ独自の責任体制で計画の立案を行います。立案された計画は、組織委員会での承認のうえ、実行に移されます。

### C. IWGAと世界連盟(IF)

立候補条件書の規定に従い、組織委員会とその事務局はIWGAおよび各スポーツ種目の世界連盟(IF)やその国内協会とコーディネーション委員会及びTLCを設け、各連盟の経験や専門知識を最大限に活用すべく、緊密な連絡体制を計ります。この関係は、各競技会場や本大会の総規模などを決定するにあたって、特に重要であると私どもは認識しています。

2001年まで、私どもは多くのスポーツ種目のIFや国内協会へ、世界選手権、国内選手権、もしくはそれに準ずるような大会の秋田開催を要請し、最大限の協力をおしむものではありません。選手や役員のかたがたが秋田を知る。同時に秋田県民がそのスポーツを知る。それがワールド・ゲームズへの理解を深める機会になると考えます。



## V. 財政計画

ワールド・ゲームズ2001秋田が成功をおさめるには、十分な財政の裏付けが大切な条件です。ですから私どもは国の内外を問わず、あらゆる活動を展開し、資金調達に努力する所存です。本大会のマーケット・ポテンシャルを最大限に生かすため、PRエージェントと協力関係を結び、活動にあたります。1996年から2001年までの総括的な予算の概要は下記の通りです。

前述の通り組織委員会は、選手、役員の競技参加日数プラス3日間の期間を限度とする宿泊費、食費を負担します。秋田地域内

での交通機関は、選手、役員、メディア、その他の大会関係者に無料で提供します。さらに、新東京国際空港と秋田の間の無料シャトル・バスの運行も計画検討中です。

以下の支出および収入は、現経済状況を分析したうえ、きわめて慎重に算出しているものです。大会実施後収入が支出を上回った場合、組織委員会は秋田そして世界のスポーツ振興のために余剰金を二分割し、秋田に一方を残し、一方はIWGAに寄付するものとします。

支 出		(単位千円)
A. 招致関係費用 (1996年10月まで)		
招致委員会費用		52,424
B. 大会準備、実施費用		
1. 組織委員会準備費用 (開催前)		242,300
2. 大会制作運営費		379,800
3. 全体運営費		90,000
4. 滞在費、交通費 (選手、役員など)		111,500
5. 広報活動費 (報道設備含む)		118,200
6. IWGA運営費 (\$70,000×4年)		29,400
7. (付帯)文化イベント		50,000
	小計	1,021,200
C. 予備費		
		50,000
合計		1,123,624

収 入		(単位千円)
A. 協賛金 (広告料金) ナショナル・スポンサー		300,000
B. 入場券、プログラム収入		70,000
C. 行政での開催予算 (県、市町村)		510,000
D. 地元財界		150,000
E. 財団などからの援助金		50,000
F. 放送権、商業権からの収入		50,000
合計		1,130,000

VI. 放送と活字メディア

VII. 終わりに

## VI. 放送と活字メディア

ワールド・ゲームズ2001秋田を世界規模の大会にしようとするにあたって不可決なことは、この大会が世界中のメディアによって、大々的に報道されることです。このために私どもは世界中の報道機関と連絡を取り、秋田にジャーナリストを派遣してくれるよう要請します。記者団の活動を援助するため、施設や機材が整ったプレス・センターを設置する計画です。

活字メディアによる報道が重要であることは周知の通りですが、私どもは世界中の人々が、テレビの画像を通して秋田を見ることを切望します。秋田開催の決定があり次第、私どもは重責あるホスト・ブロードキャスター（HB）になる放送局またはプロダクションとの交渉を開始します。HBは海外からの放送局のために国際画像と国際音声の信号を制作し、この信号を各国放送局は自国に送信します。他のスポーツ・イベントと同様、放送権は交渉または入札で売却されます。放送権を有する放送局が独自の放送（ユニラテラル放送）を行うことも可能であり、この場合HBから提供された信号に独自の映像、音声を加えて放送番組を制作することになります。

HBにより各会場でつくられる信号は、秋田中心地に設置される国際放送センター（IBC）に電送またはテープで届けられ、ここで各国放送局に配信されます。各国の放送局はこの信号を自国の放送用に加工し、自国に送信します。さらにマイクロ波によって国内送信され、地上局より放送通信衛星に打ち上げられ各国に配信されます。

HBの信号を使い、大会全種目の記録ビデオの制作も行います。完成品は大会記録の

保存のために、IWGA及び各世界連盟に寄贈いたします。

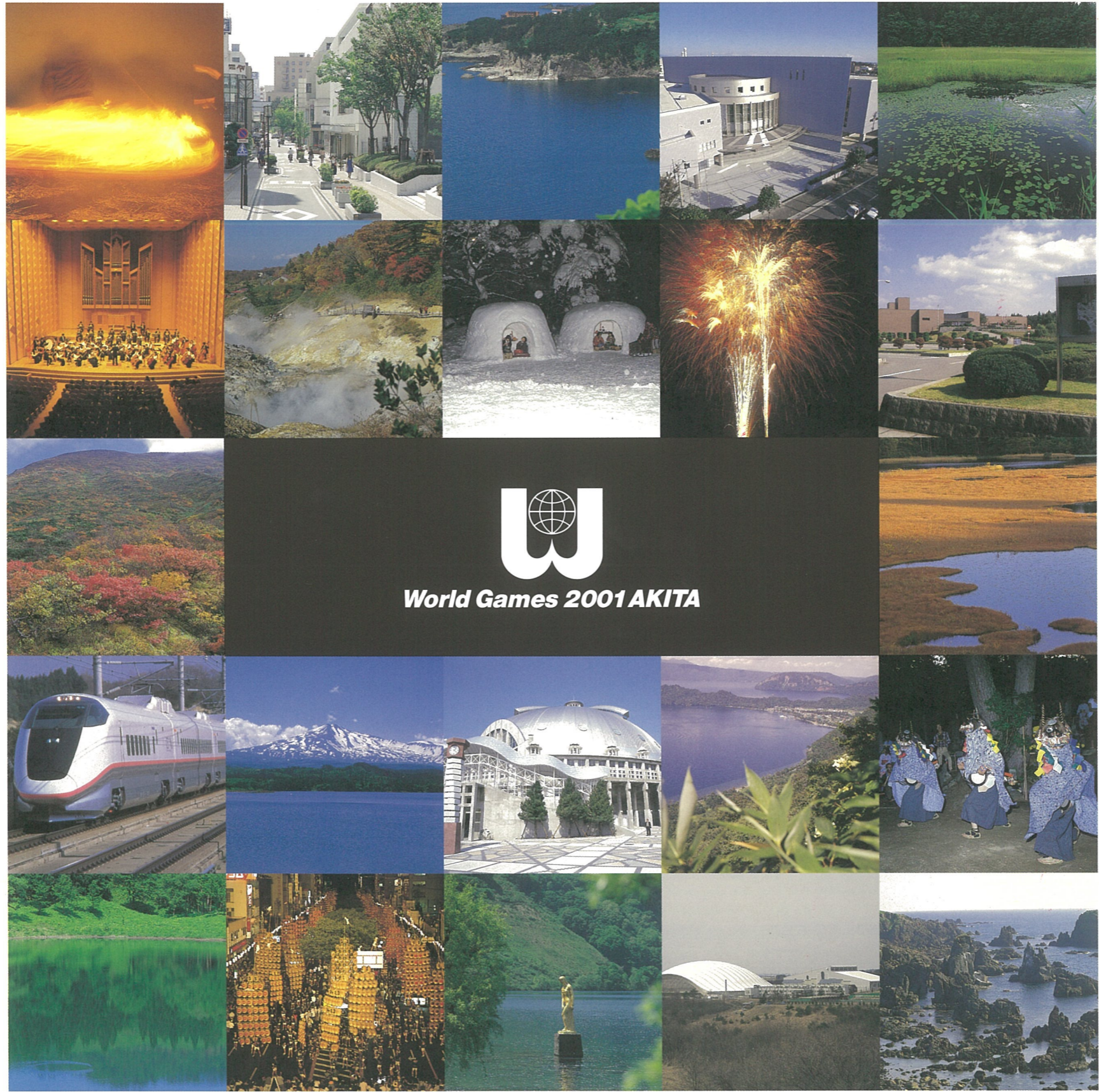
## VII. 終りに

この立候補書を通して、私どもはワールド・ゲームズの開催に秋田県民がいかにもその開催を熱望しているかを伝えてまいりました。さらに美しい自然と調和し、充実した施設や社会基盤が整備されている秋田を伝えてまいりました。私どもは秋田の大いなる恵みを日々感じ、郷土への誇りをもっています。

次世紀の秋田・・・私どもはさまざまな夢を胸に抱いています。さらに住みやすい環境をつくっていくために、そして県民のすべての人々が郷土の恵みを受けることができるよう、私どもは努力をおしませぬ。秋田県民が世界中の人々と、今までよりはるかに距離感を縮めた親密なコミュニケーションを持つことも、私どもの夢のひとつです。私どもは秋田が世界中の素晴らしい都市や地域の仲間入りすることを願っていますが、発展途上の国々や、紛争地域で暮らす人々の生活を少しでもよくするため、力を合わせていくことも切望しています。21世紀の秋田が世界の一流の地域になることを、私どもはめざします。ワールド・ゲームズ秋田開催は、この目的への大きなステップになると確信しています。

21世紀になって初のワールド・ゲームズ。大きな意義ある大会にむかって、私どもはIWGAおよびIFのかたがたと協力し、過去に類をみない成功に導くためのあらゆる努力をおしまないことを、ここに誓います。2001年夏に、この美しい秋田に、たくさんのお客様をお迎えできることを期待しています。

ワールド・ゲームズ2001秋田招致委員会





**World Games 2001 AKITA**

The Bidding Committee for The World Games 2001 Akita  
1-59 Yabase Dojonuma-machi Akita City, Akita, JAPAN 010  
TEL 81-188-63-2323 FAX 81-188-23-2722